

ベニシダ *Dryopteris erythrosora* (D.C.Eaton) Kuntze

オシダ科 *Dryopteriaceae*

1. 利用可能部位：葉柄と中肋

2. 組織形態：

葉柄基部の横断面は上面がややへこんだ円形で、上面側に1対のタツノオトシゴ型維管束、その下に環状に3, 4本の小維管束が配列する (A)。この小維管束は上方に行くにしたがって互いに癒合して数を減らし、葉柄上部では1本となる (B)。葉柄上部では上面中央が深く凹み、2本の稜が明瞭になる (B)。表皮と下表皮の細胞は径が小さく細胞壁が厚く、下表皮は10細胞層近くあり、堅い。タツノオトシゴ型維管束の外側の位置に通気孔条がある (C)。

3. 利用例：知られていない

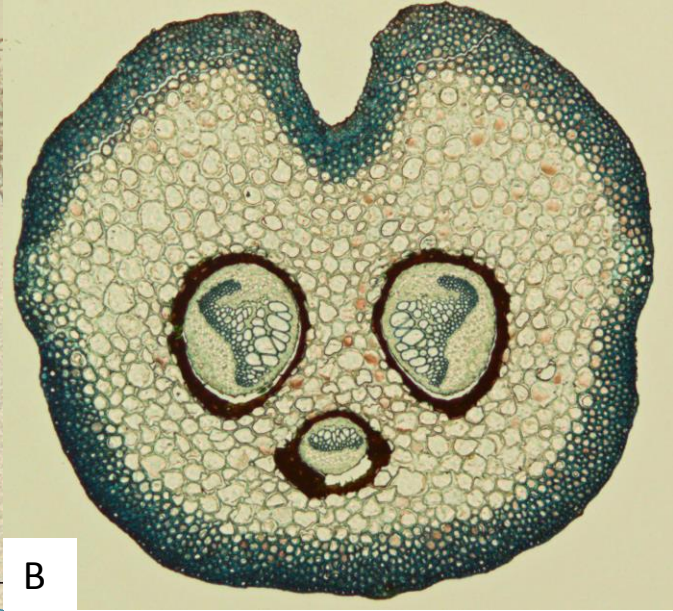
4. 遺跡出土遺物：知られていない

図説明

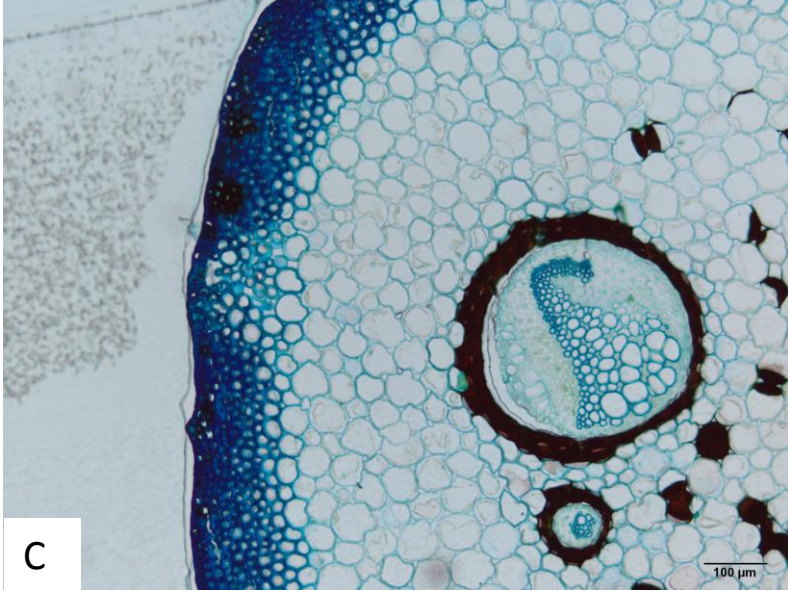
A:葉柄基部の横断面。上面がややへこむ円形で、厚い下表皮に覆われ、一対のタツノオトシゴ型維管束と4本の小維管束がある。B:葉柄上部の横断面。上面中央は大きくくぼみ、両側に一対の稜が明確になる。小維管束は互いに癒合して1本となる。C:葉柄基部横断面の拡大。タツノオトシゴ型維管束の外方に通気孔条がある。



A



B



C